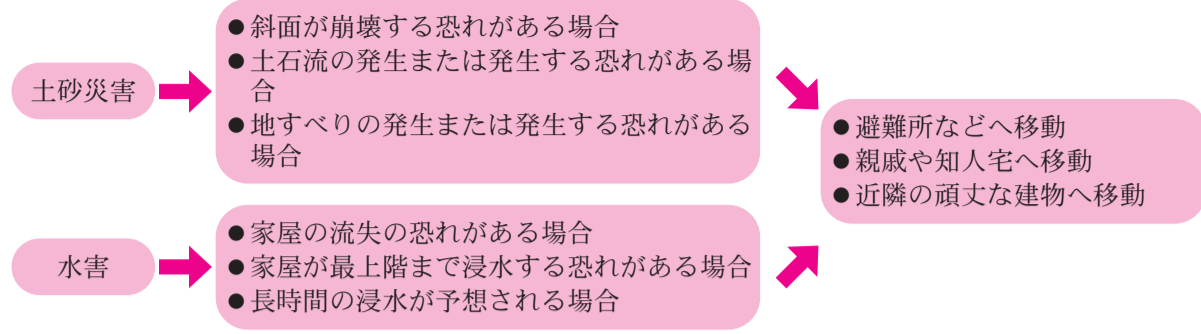


図1 立ち退き避難が必要となる災害の場合



立ち退き避難が必要となる災害の場合

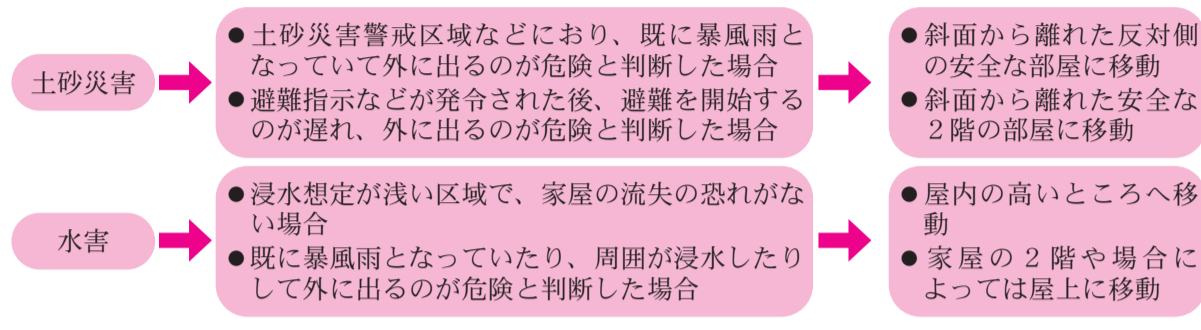
家屋にとどまることによって命の危険性を感じる場合には、「立ち退き避難」が必要です(図1)。

屋内安全確保をとる場合

移動することがかえって危険と感ずる場合などには、「屋内安全確保」が必要です(図2)。

1面のつづき

図2 屋内安全確保をとる場合



市は、集中豪雨や台風などで被害が予想されるとき、必要に応じて避難指示等を発令し、避難



早めの避難を!

- ▽市ホームページ
- ▽市公式Twitter
- ▽消防団などによる広報活動
- ▽気象庁ホームページ
- ▽テレビのデータ放送の利用
- ▽リモコンの「d」ボタンを押すとデータ放送が表示されます。



- ▽市メール配信サービス 次の二次元コードを読み取り、登録してください。
- ※050から始まる一部のIP電話は利用できません。
- 携帯電話などその他の電話から利用：☎042・558・7777 (有料ダイヤル)
- 市メール配信サービス 次の二次元コードを読み取り、登録してください。

- ▽市の防災行政無線 放送から24時間まで、放送内容を電話で確認することができます。
- 市内固定電話から利用：☎0120・558・540 (フリーダイヤル)
- 市の防災行政無線 放送から24時間まで、放送内容を電話で確認することができます。

情報伝達・入手方法等

避難所を開設します。避難指示等や避難所の開設情報は、防災行政無線、市メール配信サービス、消防団などの広報活動でお知らせします。特に、土砂災害警戒区域や浸水想定区域にお住まいの方は、早めの避難をお願いします。

※ペットを連れた避難(同行避難)をする場合：ペットを連れた避難をする場合には、ペットをゲージなどに入れて避難してください。

- 避難所では手洗い、うがい、咳エチケットなどの基本的な感染症対策を徹底しましょう。
- 避難所管理運営マニュアルを市ホームページで確認しましょう。

避難所では、感染症対策として体調チェック、避難所内の換気、スペースの確保など、衛生環境の確保を行います。避難が必要となる方は、次のことについて、事前の準備や確認をお願いします。

- 避難所が過密状態になることを防ぐため、安全な場所に住んでいる親戚や友人の家などへの避難を検討しましょう。
- 自宅周辺の複数の避難所を、ハザードマップや市のホームページなどで、事前に確認しておきましょう。
- 食料や水、毛布など、避難生活に必要なものは事前に準備しておきましょう。また、避難する際には、マスクを着用し、可能であればアルコール消毒液や体温計など感染症予防に必要なものも持ちください。

避難所では、感染症対策として体調チェック、避難所内の換気、スペースの確保など、衛生環境の確保を行います。避難が必要となる方は、次のことについて、事前の準備や確認をお願いします。

災害発生から災害復旧まで(目安：3日〜5日)の間に必要なものを用意しておきましょう(表1)。

避難所における新型コロナウイルス感染症対策

梅雨を前に危険な崖や家のまわりの再点検

梅雨や台風の時期は、長雨や集中豪雨で地盤がゆるみ、崖やよう壁などの崩壊が起こりやすくなります。特に、危ない崖や不完全なよう壁で覆われている場所にある家や土地は、大きな被害を受けるばかりではなく、隣接する方々の生命や財産にまで危険を及ぼすことにもなります。

このようなことがないよう、日頃から家の周りの安全を確かめ、危ない石積や土留などは補強改善し、雨水の排水を良くするなどして、安全対策に心がけましょう。

すでに、関係機関から改善などの措置をとるよう勧告を受けている方は、補強、改良などの工事を行ってください。

なお、法律(宅地造成等規制法)で定められた区域内で、一定の高さ以上の切土・盛土をする場合や、よう壁などを築造するときは、事前の許可が必要となりますので、注意してください。

表1 家庭内備蓄品リスト

□食品 ※食品ごとに保存期限があります。ローリングストック法で食品ロスを防ぎましょう。	□缶詰やレトルト食品 □カップ麺 □チョコレートなど 非常食にとらわれず、常温保存ができる自分や家族の好きな食品を備えておくことも大切です。
□水	□飲料水 (大人1日3ℓが目安) □生活用水：風呂の水などを活用しましょう。 炊事(湯煎等)、洗濯、トイレなどで使用します。
□燃料	□卓上コンロ □予備ボンベ □キャンプ用コンロ □キャンプ用かまど □七輪 □薪・炭・練炭など
□日用品・その他	□持病薬など医薬品 □マスク □消毒液 □携帯トイレ □ティッシュペーパー □ウエットティッシュ □寝袋 □ラジオ □懐中電灯 □乾電池 □防水シート

このリストは、一般的なものを例示しています。ご家庭の状況で必要なものを準備しましょう。なお、衣類や調理器具など日常使用するものは、リストにあげていません。

「浸水への備え」をお願いします

東京都下水道局では、雨期に向かう6月を「浸水対策強化月間」と定め、浸水への備えをお願いしています。汚水管に雨水が流れ込むと、道路上のマン

ホールの汚水などから汚水があふれ出ることがありますので、宅内や道路に溜まった雨水を流すために、汚水ますやマンホールのふたを開けることはやめましょう。汚水ますに雨水を流さないでください。

▽その他 詳しくは、「東京都下水道局ホームページ」で浸水対策、雨天時浸入水対策をご覧ください。また、「東京アメッシュ」では降雨情報を提供していますのでご利用ください。

▽問合せ 管理課下水道係

東京都下水道局
東京アメッシュ

ホールの汚水などから汚水があふれ出ることがありますので、宅内や道路に溜まった雨水を流すために、汚水ますやマンホールのふたを開けることはやめましょう。汚水ますに雨水を流さないでください。

